

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入場できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。平熱を超える発熱
 - ・ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入場者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入場できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)を活用できるよう準備する。COCoA を入れている場合は、電源をONにした上で Bluetooth を有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入場を認めない。海上では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入場から退場時までの全ての場面で、人との距離(2m以上)をとって行動すること。
- (8) レース終了後、マスクを着用してから移動すること。
- (9) 唾や痰を会場内で吐かないこと。
- (10) 食事は、大会当日出場選手は選手控え場所で取ってもよいが、人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用できるストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)
 - ・ 練習時のパドル・コード類

第 97 回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技 二次要項

■競技について

- ・本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS 競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

[r_ows_20180401_3.pdf\(swim.or.jp\)](#)

■公式練習(10月16日・17日)

- ・公式練習の際は、必ず「入退水」のチェックを受けること。(要選手ナンバー確認)
- ・AD カードはカヌー場の選手受付にて、
10月16日(土)10時00分～11時00分
10月17日(日)12時00分～12時30分 配布予定。
- ・日本選手権出場者は別途指定した公式練習場所を設けるので案内を確認すること。

・公式練習の時間及び場所

10月16日(土) 10kmレース日

10月17日(日) 5kmレース日

●11時30分～12時30分(12時20分退水)

●13時00分～13時30分(13時20分退水)

・10月16日(土)の給水エリア利用方法

- ① 給水エリアの入場制限を設ける。給水コーチ1名で、2名の選手の給水ができる。ADで管理をする。
- ② 給水エリア利用の際は安全に留意すること。
- ③ 給水エリアで使用する給水竿は OWS 競技規則に則ること。
- ④ 給水で利用した飲み物容器(ペットボトル)等は必ず持ち帰ること。
- ⑤ 公式練習後、速やかに給水エリアを退場すること。

■選手ナンバーの抽選と発表

- ・選手ナンバーは、9月25日(土)、(公財)日本水泳連盟事務局にて機械式自動抽選を実施し、決定済。
- ・発表は、9月25日(土)に(公財)日本水泳連盟ホームページ内にて発表済。

■荒天時の対応

- ・競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝8時に判断し、(公財)日本水泳連盟ホームページ内 OWS 委員会「お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「お知らせ」欄にて通知する。

■チーム受付

日時:10月16日(土)10:00～11:00、10月17日(日)12:00～12:30

場所:高知県須崎市立スポーツセンター カヌー場

配布物:プログラム、AD カード、ナンバリングシール、トランスポンダー(自動計測装置2個)、その他資料

代理でも構わないので必ずチーム受付を済ませること

車で来場の際は、カヌー場に駐車し、シーパーク大島(会場)へは循環バスを利用すること。

■監督者会議

日時10月15日(金) 17時00分(予定)

本会議はオンライン(Zoom)とする。参加URL、ミーティングID、パスコードは後日HPにアップ予定の監督者会議資料に掲載する(10月13日掲載予定)

各自資料をHPからダウンロードし確認すること。(配布は行わない)

各チーム1名のみ参加可能。画面の名前を「登録団体番号_チーム名」で入場する事

※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予めZoomをインストールしておくこと。

■大会当日 選手受付

・会場入り口にて消毒と検温を済ませ、「誓約書」「OWS健康チェックシート」と「健康チェック表」を1人1枚提出すること。

・10月16日(土)10:00-11:00

10月17日(日)12:00-12:30

・選手受付の際は、本人確認(ADカード発行)、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品(ジュエリー類)チェックをおこなう。

*注意: 選手は「健康チェック表」とは別に「OWS健康チェックシート」も提出すること。

・ナンバリングシールは各自でおこなう。場所と向きに注意しながら張ること。

※会場内に張り付け用、水入りバケツを用意、貼り付け用にスポンジまたはセームを用意して持参すること

・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。Finaマークが見えるように提示すること。

・手足の爪の手入れをし、装飾品(ジュエリー類)を取り外してから選手受付をおこなうこと。

・ウェットスーツ着用の場合は、ナンバリングシール、もしくは白色パステルクレヨンにて番号を記載するので、係員の指示に従うこと。

■公式ウォームアップ(10月16日・17日)

・ウォームアップ時間及び場所

10月16日(土)

●11時30分~12時30分(12時20分退水)

10月17日(日)

●13時00分~13時30分(13時20分退水)

■給水コーチ受付

・竿検査を大会当日(10月16日)10時00分よりチーム受付横でおこなう。

・給水コーチ受付の際は、給水者の本人確認(ADカード)、竿検査(検査済証シールを貼付)を行う。

・給水コーチの給水エリア入場順番は、選手ナンバーを給水コーチの入場順番とする。

・給水用竿(フィーディングポール)は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがってはいならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される。(OWS6.16)

・チーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。

■給水エリア利用方法および入場順

・給水コーチ給水エリア内入場時間

●レーススタート前は給水棧橋前のエリアにて待機

●女子レーススタート後、男子女子給水コーチ、係の指示で入場(13:02予定)

・給水は、指定された給水エリアにて、給水コーチ登録をしている者が行うこと。

・給水竿は、受付時にチェックして合格(検査済証シールを貼付)したものを使用すること。

- ・給水エリアで給水コーチに違反行為があった場合、給水コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。(OWS3.6 及び 6.3.1)
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水用ポンツーンから物(食べ物を含む)を投げてはならない。
- ・選手は給水竿か手渡しで物を受け取らなければならない。(但し、選手と給水コーチは同時に物に触れてはいけない)(OWS 6.16)
- ・給水コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・給水エリアへの入場は、選手番号 1 番からとする。入場時間にいない番号は抜かして次の番号を入場させる。
- ・給水エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る(占有する)ことを禁止する。
- ・担当選手の給水を終わたら一旦後列に下がり、他の給水コーチと譲り合って利用すること。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・なお、給水エリア内では必ず口元を覆うマスクを着用し(フェイスシールドのみは不可)選手への節度ある声掛けは可とする

■選手招集

- ・選手招集の際は、AD カード、チーム受付で配布した指定の袋(選手ナンバー記入必須)を持参すること。
- ・最終諸注意を受け、荷物を(履物、飲み物、着衣等、マスク)指定の袋(選手ナンバー記入必須)に入れ、その場に置く。
- ・男女共に選手ナンバー順に、選手コールをおこなう。
- ・選手コールが全員終わり次第、競技役員の指示に従いスタート位置へ移動する。
- ・荷物はフィニッシュ後に選手招集所にて返却

■スタート

- ・ポンツーンより飛び込んでスタートとする
- ・スタートの際は必ず、左右いずれかの足のつま先がポンツーン端に掛かっていること

■ラップゲート

- ・給水棧橋の先端付近にラップゲートを設置する。
- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水後

- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。
- ・競技途中で退水(リタイア)をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。また、AD カードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えに AD カードを受け取ること。

■表彰

- ・本大会において表彰式はおこなわない。
- ・男女とも 1 位～3 位に盾ならびに賞状を授与する。
- ・4 位～8 位に賞状を授与する。
- ・入賞者は女子リザルト確定後に場内通告にてアナウンスする。
- ・大会本部席にて盾または賞状を受け取る(AD カードを持参すること)。
- ・上位 3 名は写真撮影をおこなう。

■感染症拡大防止について

- ・日本水泳連盟のガイドラインを熟読の上、厳守すること。
- ・ガイドラインに従わない場合や、係の指示に従わない場合は退場処分とする。
- ・大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。
- ・当日はコロナ対策として入口にて手指消毒と検温を行う。一度検温し異常が認められなければ、配布されたリストバンドを着用すること。リストバンドの着用と引き換えに、その日の検温は免除される。

■その他

(1) OWS 競技の水着

- ・(公財)日本水泳連盟「競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20190310.pdf

(2) 安全について

- ・(公財)日本水泳連盟 OWS 競技に関する安全対策ガイドラインに則り実施する。
[Microsoft Word - OWS 安全対策ガイドライン 完成版 20100310 \(swim.or.jp\)](#)
- ・(公財)日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

(3) 本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、競技終了後 30 分以内に配布の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料 10,000 円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。

(4) 選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の選手受付時(10月16日、17日)11時00分までに必ず提出するように。

(5) 本大会は、JADA によるドーピング検査対象となる。

(6) AD カードは、会場内にいる時は常時首からさげていること。また、入退場に際しては、必ず AD カードを提示して係員の指示に従うこと。

(7) 万が一誤ってラップゲート、フィニッシュゲートに進入しても、コースを戻り、正常なコースに戻れば失格にはならない。但し、フィニッシュアプローチをくぐる行為は許されない。

(8) 本競技会は無観客試合とし、チーム関係者、家族にも観戦自粛を促すこと。

以上